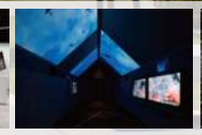
予科練平和記念館

YOKAREN PEACE MEMORIAL MUSEUM

過去を知り、未来を見つめよう



Key word 予科練とは？

予科練とは、「海軍飛行予科練習生」及びその制度の略称です。若いうちから基礎訓練を行って熟練の搭乗員を育てることを目的とし、昭和5年に横須賀海軍航空隊で誕生しました。昭和14年に阿見町にあった霞ヶ浦海軍航空隊へと移転後、昭和15年に土浦海軍航空隊として独立します。その後も予科練は全国へと拡大し、終戦までの15年間で合計約24万人が入隊しました。

訓練：鉄棒

訓練：煙風洞実験

予科練生の心にせまる

「心情」「飛翔」のエリアでは、予科練生たちの手紙などを読むことができます。幼い少年たちが、戦争に巻き込まれ、当事者となっていく中で、家族や故郷に思いを馳せて取った筆。残された手紙の数々は読む人の心を打ちます。今と変わらない普通の少年達だった予科練生の事を考えると、平和への想いも新たになってきます。

予科練生の日常を知る

予科練平和記念館は、7つのテーマエリアで構成されています。まずは、予科練生を模したガラスケースが立ち並ぶ「入隊」と「訓練」のエリアへ。試験を突破して阿見町の予科練の門をくぐった少年たちは、朝早くから夜寝るまで、訓練に明け暮れていたそうです。彼らがどのような生活を送っていたのか、兵舎や教室を再現した展示室を見学します。

「検閲済」ハンコが押されたはがき

予科練生に思いをはせる

大空への憧れを持って入隊した予科練生。予科練平和記念館は、そんな予科練生の憧れの「空」を見上げるような内装の工夫がなされています。どこまでも白い建物と、青い空を見上げて当時の予科練生に思いを馳せれば、どこか背筋が伸びる思いがします。

阿見の人たちとの交流を知る

厳しい訓練の合間にあった、ほんの少しの娯楽と休養。阿見町の人たちは、そんな予科練生のかけがえのない時間を優しく見守っていました。「交流」のエリアでは、そんな阿見町の人々との交流や予科練生の思い出の場所が紹介されています。

特攻の悲劇を学ぶ

予科練の卒業生には、特攻隊として戦地へ飛び立った方も多くいました。「窮迫」「特攻」のエリアでは、そんな戦争の悲劇を学ぶことができます。昭和20年6月10日に起きた、阿見町の空襲も体感することができる、貴重なエリアです。

零式艦上戦闘機（通称零戦）二一型の実物大模型の展示を行っています。日曜日と祝日のみ、格納庫の外で展示しています。

〒300-0302 阿見町廻戸5番地1　TEL:029-891-3344
https://www.yokaren-heiwa.jp/
開館時間 / 9：00～17：00（入館は16：30まで）
休館日 / 毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）12/29～1/3
入館料 / 一般（大学生以上）500円〈団体400円〉
小中高生300円〈団体240円〉　MAP P.45-4A

こちらも行ってみよう

雄翔館

予科練平和記念館に隣接した陸上自衛隊土浦駐屯地後方支援学校武器科部内にある、雄翔館では、予科練戦没者の遺書・遺品約1700点を収蔵、展示しています。こちらも戦争の悲劇を知る、忘れてはならないスポットです。

〈問い合わせ先〉
土浦駐屯地広報援護班
TEL:029-887-1171（内線 231）

『阿見観光ガイド』紹介

「阿見観光ガイド」は歴史・自然・文化等を学び、阿見町の魅力を発見、発掘し、その成果を観光コースづくりなどに生かしています。毎年、春と秋には人気のウォーキングイベントを開催中です。また、事前のお申し込みで阿見町の豊かな自然から、マニアックな戦跡に至るまでとっておきの阿見町、知られざる阿見町を案内しています。

阿見観光ガイド
問合せ・申込先：あみ観光協会事務局
〒300-0331 阿見町阿見4671-1
TEL：029-886-8771　https://plami.jp